



〒982-0845  
仙台市太白区門前町9-2  
Tel 022-248-0158 Fax 022-248-0482  
URL <https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>



創立96周年  
仙台三桜高校となって  
10年目になります

## 合唱コンクール

7月5日金曜日、仙台三桜高校恒例の合唱コンクールが、仙台サンプラザを開場に開催されました。

最優秀賞クラス 2年1組 レクリエーション委員  
小泉 侑以 さん(仙台市立六郷中学校出身)



私は昨年度に引き続き今年度も合唱レク委員を務めました。今年度、最優秀賞を受賞するまでの練習過程で、私が一番重要だと感じたのは、クラスでの雰囲気作りです。合唱練習を始めた頃はクラスが一つというよりは、いくつかのグループに分かれてしまって、リーダー役の私たちの思いが全体に伝わって行かないことが多くありました。しかし、練習を重ねていくうちに、合唱に対して真剣に向き合ってくれる仲間が増えました。その中心となってくれたのが音楽部員の人たちでした。私のクラスには5人の音楽部員がいて、四つのパートに分かれて、初めの音取りから曲の表現の仕方まで指導してくれました。クラスを一生懸命にクラスをリードするこの姿を見て、クラスのみんなもそれに応え、協力してくれました。そして、次第にクラスが団結していきました。その頃になると、私たちの話にクラスのみなが耳を傾けてくれるようになって合唱も順調に仕上がっていきました。

このように、最後にはクラスが一丸となって頑張れたことが、最優秀賞に結びついたのだと思います。最初は思うようにいかずに大変でしたが、今は協力してくれたクラスのみんなにすごく感謝しています。

令和元年度  
三桜祭実行委員長  
舟山 琴葉 さん(仙台市立中田中学校出身)

8月末、毎年恒例の行事である「三桜祭」が開催されました。今年の三桜祭のテーマは、「3年〇組～今から皆さんは三桜祭の主人公です～」でした。当日はそのテーマの通り、三桜生も一般の方々もそれぞれが思いの場所と方法で主人公となって三桜祭を楽しんでいたと思います。

また、今年は実行委員企画として、「男装・女装コンテスト」を実施しました。今年初めての試みだったので、一から準備をすることはとても大変でした。でも、本番では各クラスの代表が質の高い男装や女装を繰り広げてくれたお陰で、生徒のみんなは大喜びでした。この様子を見て、新しい企画にチャレンジして頑張った甲斐があったと思いました。

その他にも、参加団体がそれぞれ新しいアイデアを取り入れた展示や模擬店の運営をして例年より進化した三桜祭を作ることが出来たと思います。



## 三桜祭



# この夏の体験から

## 地学部

8月17日(1日目)  
南相馬氏原町区深野にて石灰岩採集  
いわき市アンモナイトセンター  
『湯の岳山荘』泊

8月18日(2日目)  
あぶくま洞  
新滝根鉱山にて大理石採集  
入水鍾乳洞  
『星の村ふれあい館』泊  
星の村天文台「星空ツアー」に参加

8月19日(3日目)  
石川町歴史民俗資料館  
和久観音山鉱山跡見学



福島県田村市・新滝根鉱山にて  
結晶質石灰岩を見学・採集中

### 夏季巡検合宿 in 福島 地学部部長 佐藤 由奈さん (山元町立坂元中学校出身)

私たち地学部にとって一番大きな活動は夏合宿で、これを毎年行ってきました。夏合宿ではおもに天体観測や鉱物の採取などを行いました。一見難しそうな内容ですが、顧問の先生や巡検先の担当の方々の丁寧で明瞭な説明のおかげで理解を深め、新しいことを学ぶことが出来ました。

11月には自分達の研究を発表する、「生徒理科研究発表会」があるので、今までの成果をきちんとまとめて、夏合宿やこれまでの活動が無駄にならないように発表したいと思います。



令和元年度  
夏季巡検合宿 in 福島  
8月17日(土) - 19日(月)  
(合宿のしおり)

### 祝 110MH(男子) 県新人大会優勝 菊池 航志さん(仙台市立七郷中学校出身)



県新人大会で優勝するという目標を有言実行できてとても嬉しいです。

決勝レースではとにかく自分の走りだけに集中したので、あまり緊張はしませんでした。チームメイトの熱い応援もまた自分の自身や力となりこのような結果に繋がったと思います。この場を借りて、支えてくれた多くの方々に感謝します。

東北大会では、自己ベストを更新し、優勝できるように、焦らないで冷静に自分レースをしてきたいと思います。

### 国際交流会に参加して

英語部部长

柴田 優さん(仙台市立山田中学校出身)



アメリカ合衆国から宮城県を訪問中の学生オーケストラ団との国際交流会が7月18日に行われました。

私たち英語部はアテンダントとして参加することになりました。その仕事を頼まれた時は、日々の部活動の成果を生かすチャンスだと思いました。そして、案内する予定の活動について上手に英語で説明できるように、英語のスピーチの練習に励みました。当日は上手に出来ない場面もあって、先生方に頼ってしまうところもありましたが、とにかく練習してきたことが発揮できるように頑張りました。



後日、オーケストラ団員の方々からお礼状を頂いてそれを読んだとき、この大役を引き受けてよかったのと同じように、英語部の活動にますますやりがいを感じる事が出来ました。

### NPOで高校生の夏ボラ体験に参加して

田中 杜萌さん(尚綱学院中学校校出身)

私はこの夏休みを利用して、障害のある小学生が通う放課後等デイサービス施設でボランティア活動をしました。子供の相手が得意というわけではないけれど、子供たちと触れあいたいと思ってチャレンジしました。

私は障害のある子供と接したことがあまりなくて、初めは緊張し、子供が何を言っているのか分からずに困ってしまいました。しかし、子供たちと一緒に遊んだり、昼食を取ったりしているうちに、子供たちとコミュニケーションがとれるようになりました。

短い期間でしたが子供たちと一緒に過ごしたことで細やかな気配りが以前に増して出来るようになった気がします。

この経験を将来のために生かして、さらにいろいろな事にチャレンジしていきたいです。(右側写真提供：河北新報社)



### 教師を志す高校生支援事業に参加して (8/7, 8/8宮城教育大学で開催)



宮城教育大学の外観  
宮城教育大学

《参加者の感想より》一番心に残ったのは、高校時代の自分の経験が今に生きているという話でした。勉強や何かを指導するにも、まずは生徒との信頼関係を築くことから始まり、子供達に共感してあげて、指導してあげることが大切だということが分かりました。そのため、まずは自分が今、一生懸命になれることに取り組んでいきたいと思いました。(1年生)

研究室体験(英語教育講座)

英語といっても様々な分野に分かれていて驚きました。リスニングでは、これまで聞き取れないことがありました。が、日本語と英語では言語と言語の間の取り方やリズムの違いがあることを教えていただきました。より深いたくさんの知識がまだまだあるということを感じ、大学生活がさらに魅力的だと思いました。(3年生)

### お知らせ

10月26日(土)  
オープンキャンパス  
10:00~12:00

多くの中学生の参加  
をお待ちしています!

